

地域計画の策定に向け参考となる事例

JAと市町村の連携した取組実施に向け、JA中央会と県とで連携し支援

JA長野中央会、長野県

認定農業者数
(R3)

6, 733 経営体

遊休農地面積(R2)
(うち再生可能)12,140 ha
(3,830 ha)担い手への農地
集積率(R4)

39. 7%

連携の趣旨

JAサイド

次世代総点検運動を実施し
中期3か年計画を策定する
全戸調査には大きな負担

行政サイド

地区ごとの話し合いをもとに
地域計画を策定する
低い回収率

連携可能性

両者を連携して実施することで…

- ・回収率の向上
- ・調査発送、集計等の手間、経費の分担
- ・農業者の負担感の軽減

が図られるのでは！

連携推進の取組み

R5.3 6者合意の締結

R5.5 県・中央会で今後について協議

R5.3 県版マニュアルの改訂

R5.7 中央会からJAへ連携提案

R5.4 JA営農・農政担当部課長会
議での説明実施

R5.7～8 県、農業会議、中央会から
市町村等へ連携提案

JAあづみと安曇野市の連携事例

JAサイド

R4.11 JAあづみ主催「農政学習会」
「地域計画」について関係者研修

R4.11～ 部会別「次世代総点検運
動」
「果樹」「土地利用」「そ菜等」に分け
て全組合員の意向調査を実施

～R6.12 結果集約し計画素案を作成

行政サイド

意向調査は別途実施
回答率向上のため設問絞込み

JA調査結果を現況地図に一部活
用

計画単位より細分化した農業委員
又は農地最適化推進員の受け持
ち単位ごとに協議を実施

JA中野市と中野市の連携事例について

○ 地域の特徴

- ・JAと市が(ほぼ)一対一対応
- ・菌茸、ぶどう等が主力

○ 地域計画・協議の単位

- ・旧小学校単位で計画策定予定
- ・話し合いの単位は21に細分化予定

○ 策定スケジュール

- ・R4年度に3地区で座談会開始
- ・R5年度までに10地区、R6年度に
11地区で開催予定
- ・地区ごと3回の座談会を実施予定

○ JAとの連携状況

- ・アンケート調査内容にJAから要望
のあった項目を追加
- ・座談会場の確保や出席者募集へ
のJAの協力

○ JAとの今後の連携予定

- ・農業者向け支援制度等の説明、
農地マッチングの情報等を提供し
てもらう予定
- ・規模拡大意向の農家や新たな農
地を探している農家及び離農意向
農家情報等を提供してもらう予定

今後に向けて

○まずはミクロの積み上げに注力

- ・地区単位の話し合いに基づく「実のある」地域計画の策定支援
- ・策定後、継続的に課題解決が図られるようフォローアップ

○今後(5年後の見直し)に向けて

- ・JA区域ごとの市町村の取組みが
まとまるよう誘導
- ・マクロな観点からの地域計画見直し支援
産地維持の観点／需給の観点から

